

# THE CARE

The CARE 実証事業成果発表資料

**大企業および中小企業の従業員を対象とした  
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**

THE  
CARE

詳細はこちら



看護師と助産師の**国家資格**をもつケアラーが  
健康や子育てに関する**専門知識**をもって  
**24時間365日**、社員を**公私ともに支援**する



# THE CARE

詳細はこちら



企業専属の助産師が、企業とそこではたらく人を継続的にサポートします。



## オンライン相談

24時間356日、秘密厳守で健康や子育て、メンタルの相談が可能。オンラインでも、人対人の密なコミュニケーション、温度感を大切に寄り添います。



## 育休サポートプログラム

妊娠中から職場復帰まで専門家が継続的に支援。産前産後の知識はもちろん、自宅に訪問しての専門ケアは他社にはない先進的な取り組みです。不妊治療の段階からの支援も可能です。



## ウェルネストレーニング

看護師や保健師、助産師の資格を活かし、健康やキャリアに関する講義やワークショップを実施。共通の課題を共に学ぶことで、ダイバーシティ・インクルージョンな社風を醸成します。



## コンサルティング

相談実績を統計データにまとめ、企業の担当者へ毎月報告。また社会的な動向も含め、専門的な目線と、蓄積された社内実績から御社にあった今後の取り組みを提案します。

※育休サポートプログラムは  
今回の実証事業では含まれておりません。

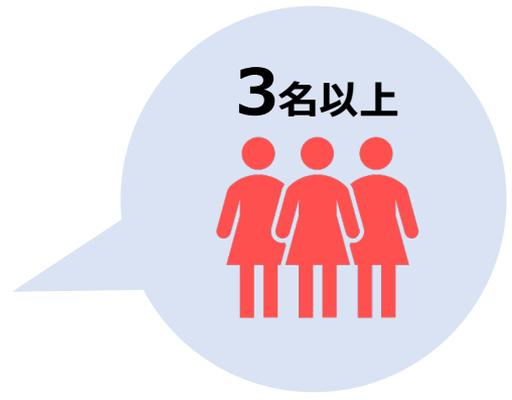
特徴

# THE CARE

詳細はこちら



## ▶ 顔が見える安心感



THE  
CARE

詳細はこちら



## ▶幅広い相談をワンストップ解決

こんな時に相談を!!

キャリアと子育ての相談、  
専門家に聞いてほしい...

最近よく眠れない。  
この気分の落ち込み、  
早めに解決したいな。



男性にも更年期があるんだね。  
どうすればいいのかな？

妻の生理が  
辛そう...

THE  
CARE

# TRIBUS

## 結果

- ・サービス利用者は92%の高い満足度と、96%の導入意向
- ・非利用者であっても76%が導入意向あり
- ・利用者の3割が男性、幅広い年齢層から利用がある

## 課題

- 1) 対象者が少なく、業種、企業規模が限定的
- 2) 客観的指標が不足している
- 3) 外部研究機関の介入がない

# 大企業および中小企業の従業員を対象とした ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業



## 1 企業規模・業種のバリエーション

- ・対象者数：317名→**12,000**名
- ・業種：1業種→**10**業種以上
- ・企業規模：大企業→**大企業と中小企業**

## 2 客観的指標として4つのスケールを使用

満足度や利用意向だけでなく、ライフワークバランスやストレス、幸福度などにおいて客観的スケールを活用。

- ・ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版（渡井,錦戸,村嶋,2006）
- ・ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動尺度（加藤,金井,2006）
- ・Public Health Research Foundationストレスチェックリスト・ショートフォーム（今津,村上他,2006）
- ・主観的幸福感尺度（伊藤,相良,池田,川浦,2003）

## 3 外部機関との連携



研究機関として

東京慈恵会医科大学（浅川 友祈子氏，医学部看護学科助教）との連携

事業目標：①企業への助産師介入の有用性検討

①汎用性のあるエビデンスを提示しトップランナーとして当分野の今後の発展に資すること

実証  
事業  
期間  
中



目標：3社  
目標総従業員数：10,000人



目標：10社  
目標総従業員数：2,000人

企業選定のバックアップ



- ①属性 ②働きやすさ
- ③ストレス度 ④幸福度 など

導入前後のアンケート調査

集計・分析・エビデンスの報告

実証  
事業  
後

1

トップランナー  
として分野の開拓

2

他企業の新規参入  
当分野が醸成する

3

だれにとっても  
働きやすい  
職場環境

だれもが自己実現できる  
ジェンダー平等な社会へ

離職率の低下/産業の発展/ウェルビーイング向上

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

導入先企業のリクルート

導入前アンケート調査



24時間365日  
オンラインシステムを用いた  
健康と子育て個別相談

研修

研修

研修

導入後アンケート調査

分析・報告

01

第1回「**ライフをととのえるーウェルネス・マネジメントー**」  
(約60分)

02

第2回「**メンタルヘルスを update**  
**ー自分の心の動き・他者との違いを知るー**」  
(約60分)

03

第3回「**パパのための育児ー男性育休のリアルー**」  
(約60分)

# ■ 結果

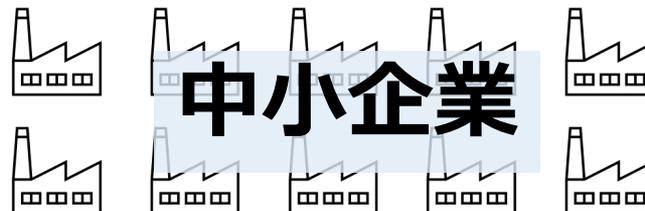
## ■ 調査規模



目標：3社→**3社**

目標総従業員数：10,000人

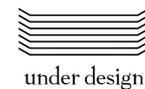
→**11,426人**



目標：10社→**11社**

目標総従業員数：2,000人

→**3,201人**



# サポートミッドワイフ15名



**加藤 千香**

お口の機能と体の成長を支援する  
助産師



助産師による訪問型サポ  
ート Tia

**川添 梨沙**

助産師



株式会社With Midwife

**岸畑 聖月**

臨床助産師/CEO/起業家支援PJマ  
ネ



**佐藤 祐佳**

助産師/パーソナル栄養コンサル  
タント



助産院 まる眼鏡ママ相談  
室

**鈴木 円香**

助産師/授乳/パートナーシップ



**竹崎 澪**

助産師 / 心理カウンセラー



**谷本文葉**

Fumiyo Midwifery



Your midwife

**中島 じん**

福岡・助産師・相談・性教育・お  
むつなし育



株式会社WithMidwife

**中濱 摩美**

助産師/看護師/保健師/顧問助産  
師



大切なものを守れる力を

**土方 由香**

助産師 カラーセラピスト



**福田 遥奈**

助産師



**藤木 安澄**

助産師



Your Midwife ~  
support for non-  
Japanese people~

**ブラウンみゆき**

助産師 / Midwife



Hug Style 生きるチカラ  
のはぐくみかた

**松吉奈保美(Naho)**

助産師 ライフコーチ



**宗内 優美香**

株式会社With Midwife

## ■ 実証事業参加者

- 導入前アンケート

**2604**件（全体回収率17.8%）

- 導入後アンケート

利用者：**101**件

非利用者：**322**件

- 利用状況

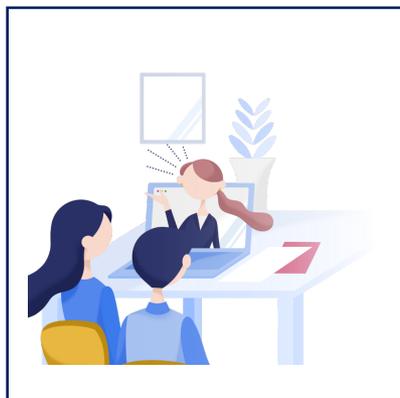
メール相談	341件 （内2割は 導入前アンケート 非回答者）	
オンライン相談	10件	
セミナー	第1回目	204名
	第2回目	234名
	第3回目	129名

# 前後比較可能な**89**名のデータについて発表



導入前アンケート  
回答者

+



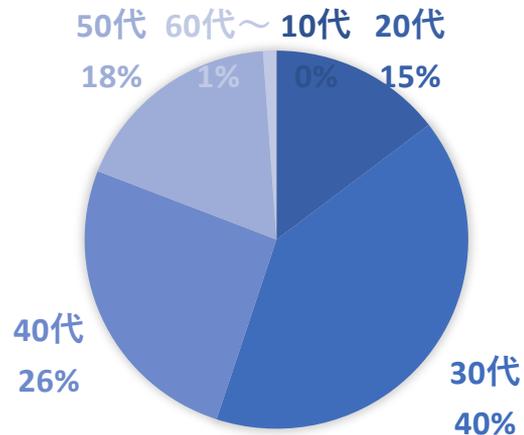
何らかの  
サービス利用者

+

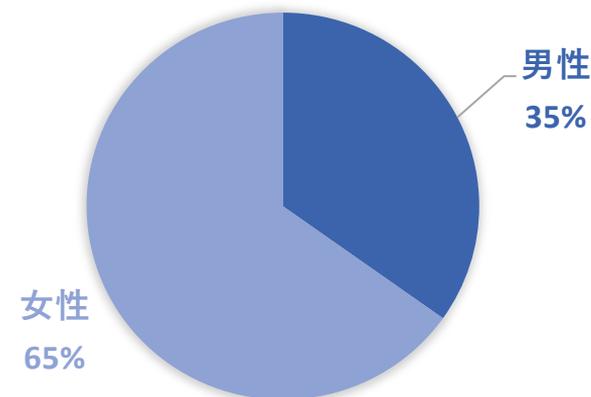


導入後アンケート  
回答者

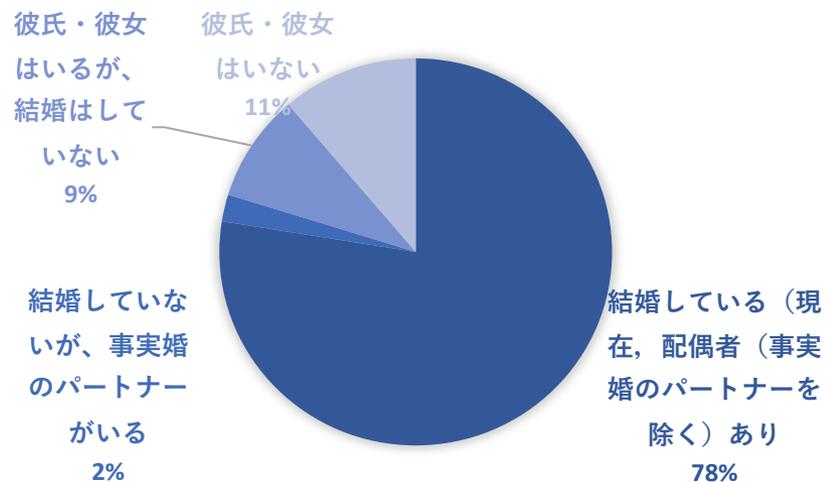
## 年代



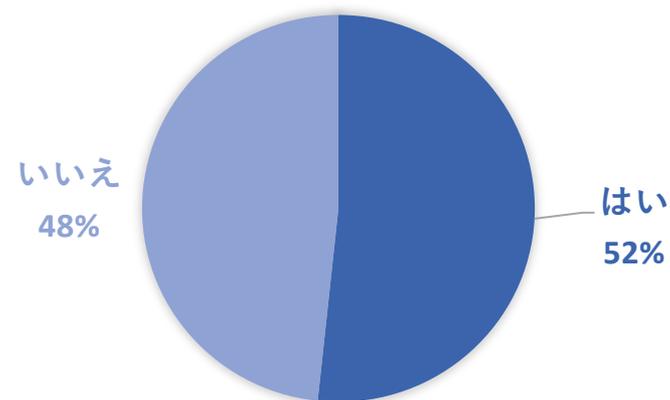
## 性別



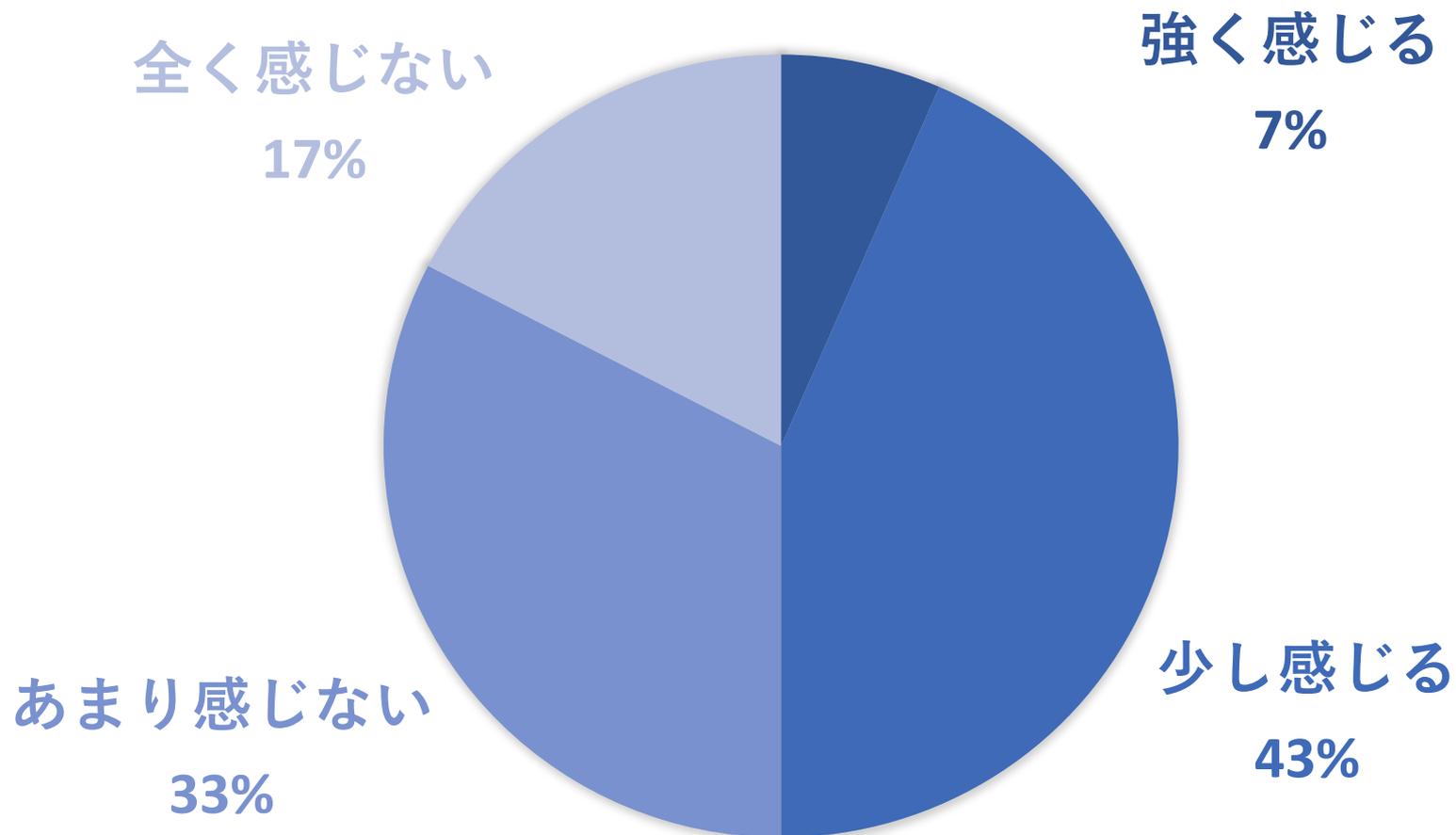
## 婚姻の有無



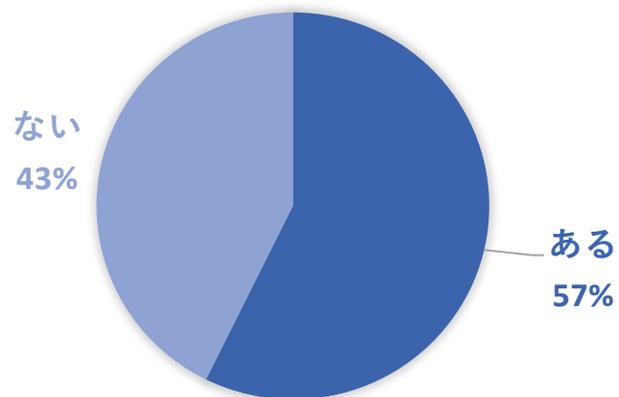
## 子どもの有無



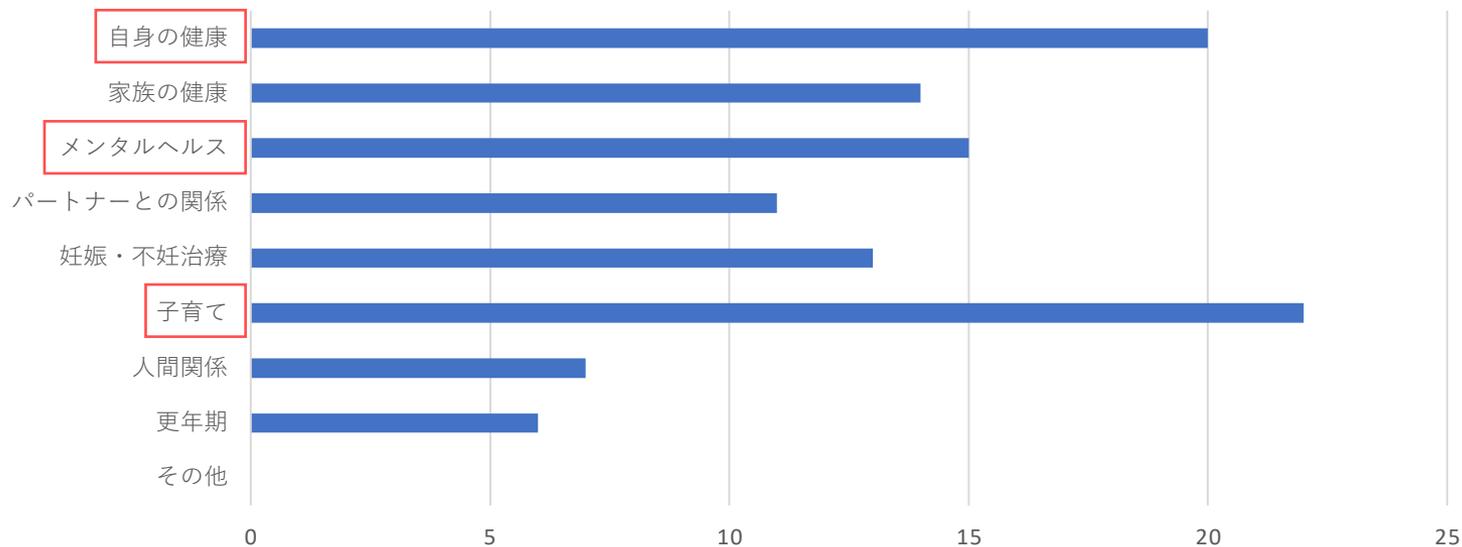
## ■ 育児困難感 (n=46)



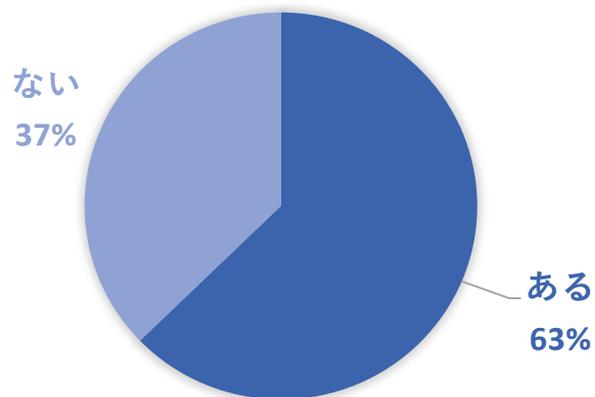
## ■ 悩みの有無



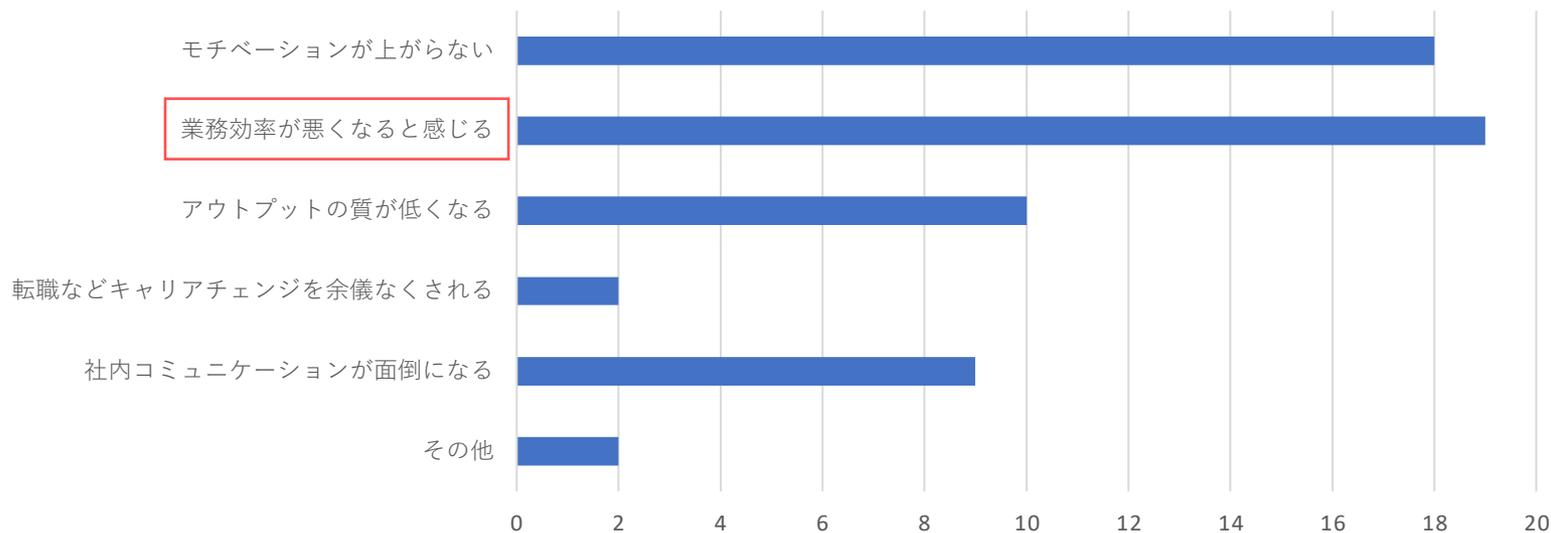
## ■ 悩みの内容 (n=51)



## ■ 仕事への影響 (n=51)



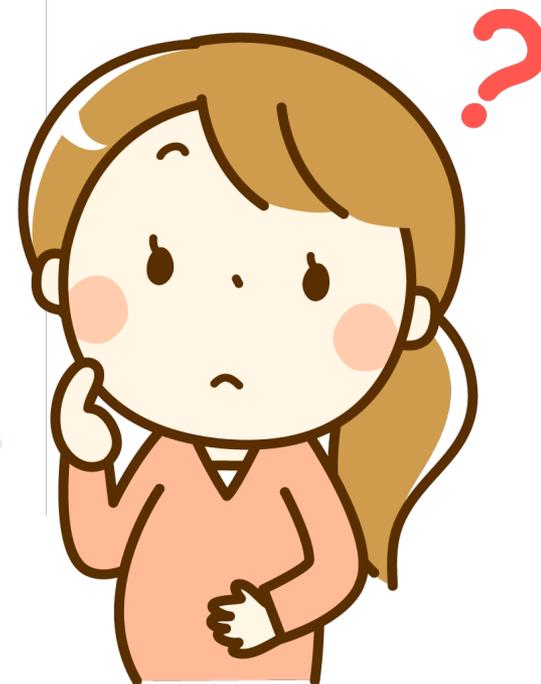
## ■ 仕事への影響の内訳 (n=39)



妊娠したらみんなで  
「助け合う」のはわかっている。  
けれど、不妊治療中の私は  
助けるばかりでもやもやする...  
(38歳・女性)



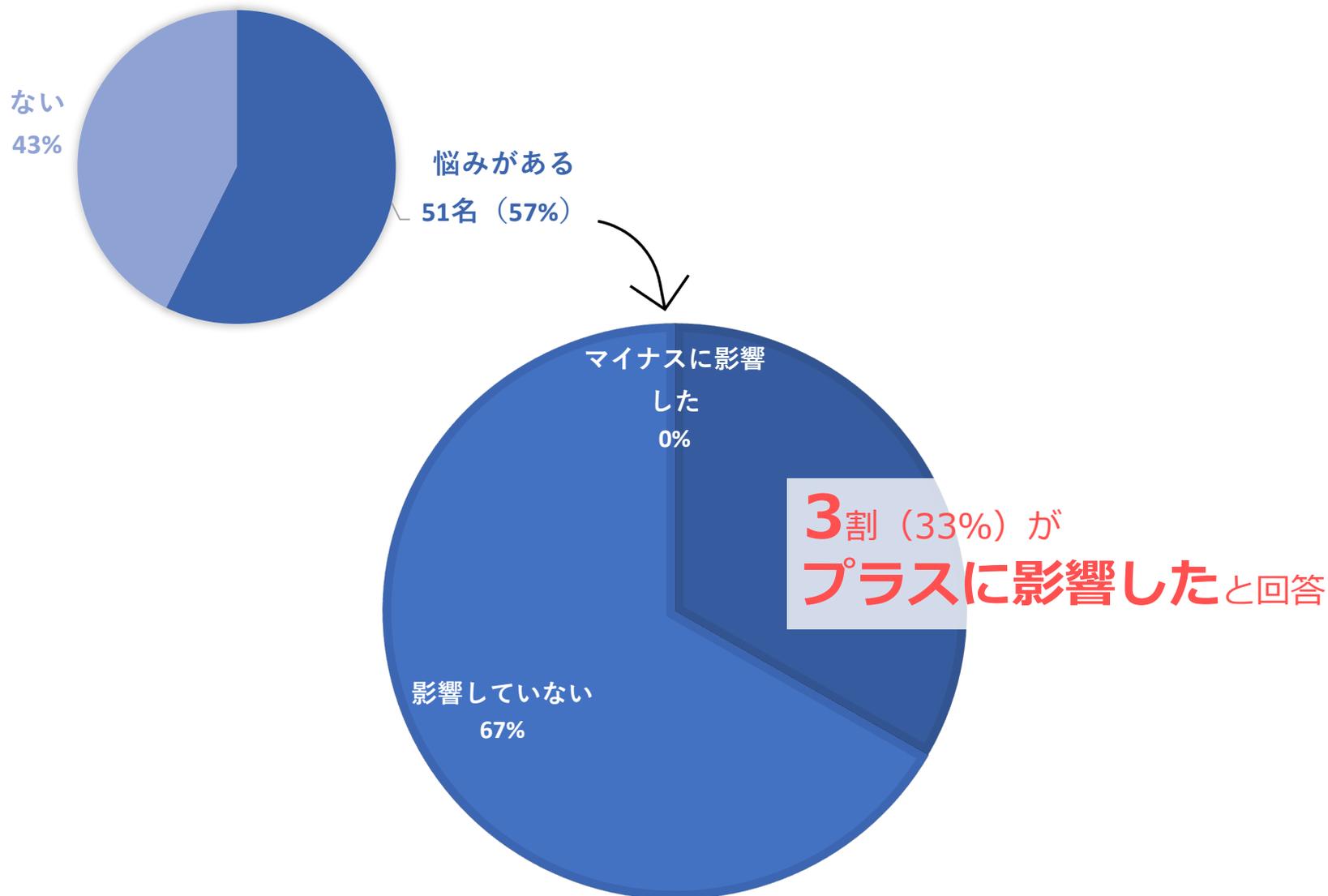
契約社員は  
契約更新時期に妊娠出産が重なると  
正当な評価をしてもらえない。  
(32歳・女性)



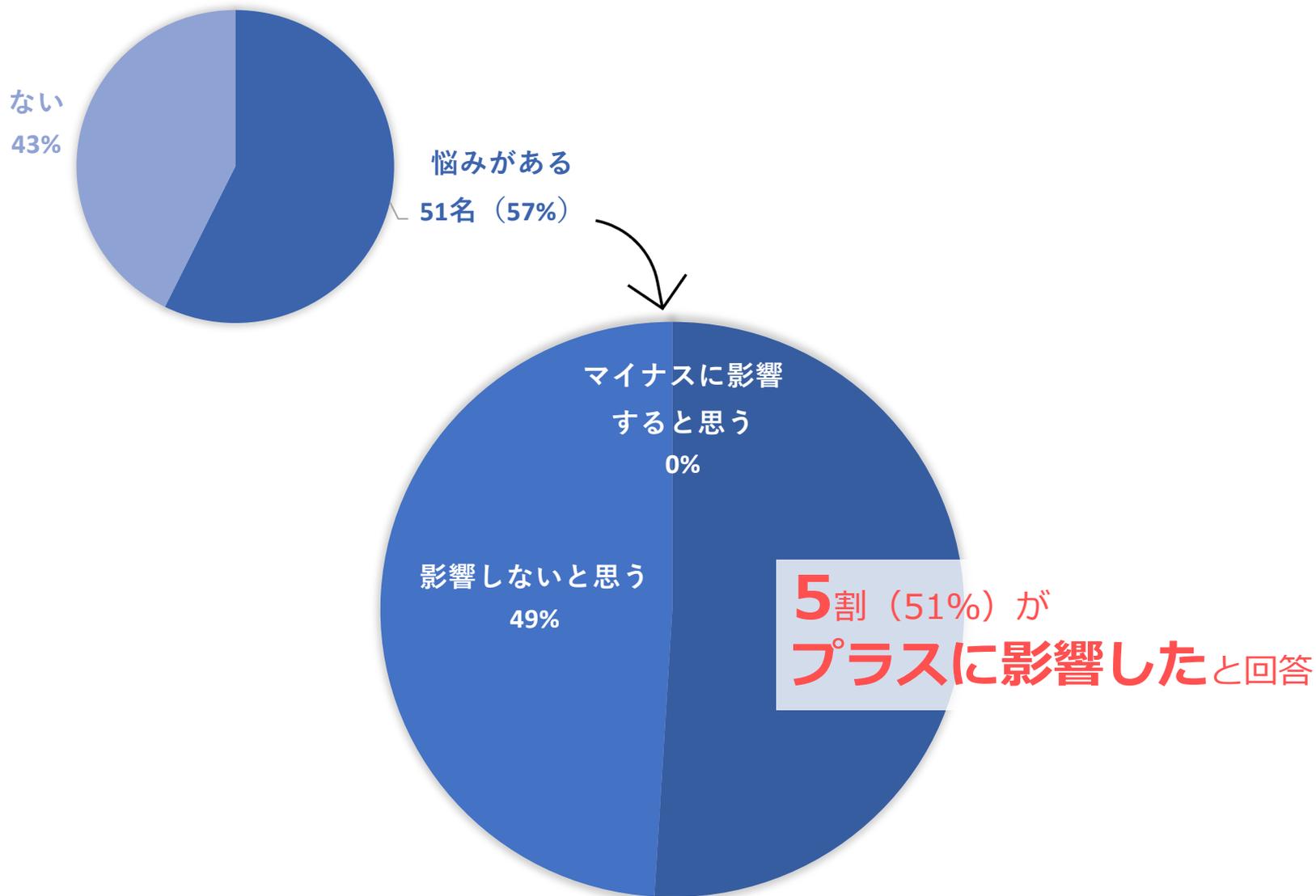
パートナーが流産。  
自分も気持ちに整理がつけられないし、  
異動したばかりで仕事も大変。  
余裕がありません。  
(25歳・男性)



## ■ サービスが仕事に影響をおよぼしたか (n=51)

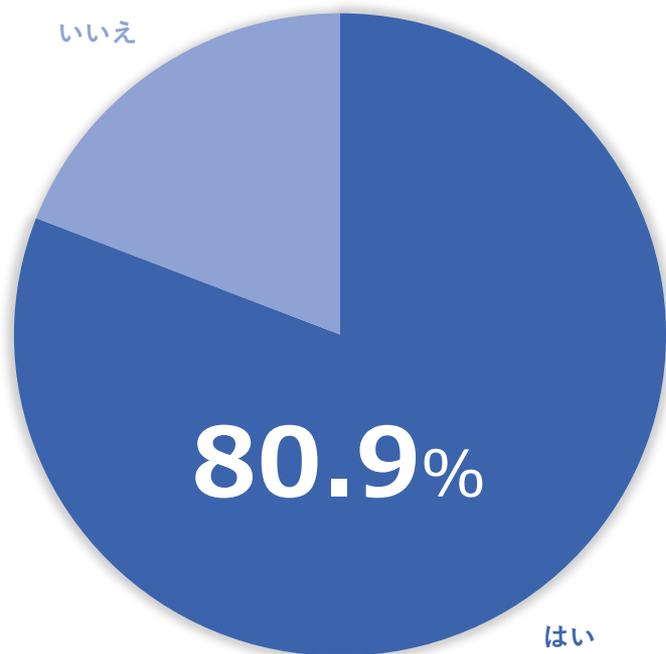


## ■ サービス利用後にキャリアへの影響はあったか (n=51)

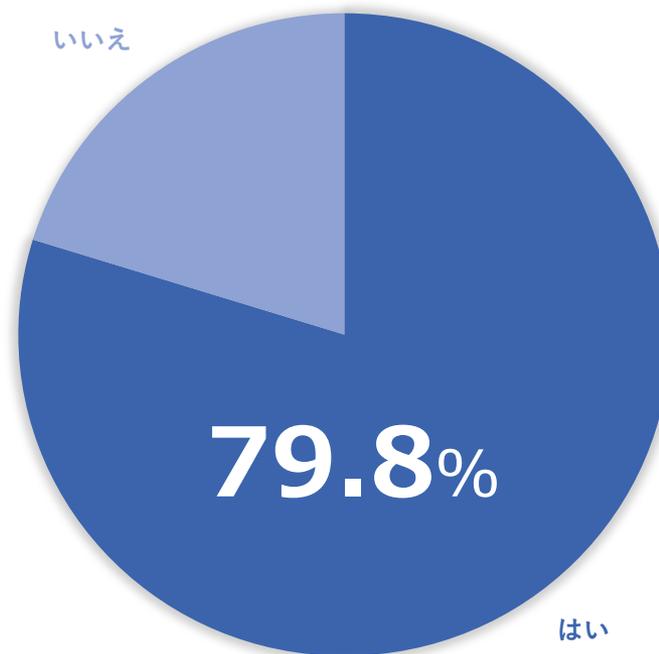


- とても優しいお声がけをいただき安心してすることができました。また匿名という部分も非常に安心要素です。
- 家族・友人・同僚にも相談しづらかったことだったが、第三者の専門家に相談できるサービスだった。回答も迅速で温かみがあり丁寧で、きちんと向き合っていただけで安心感があったため。また悩んだときには再度利用したいサービス。
- とても有益だったし、孤独からくる産後うつを防げるのでは、と思えるほど親身になって下さったから。
- 日々発生する些細な不安もタイムリーに相談できることは、精神衛生上も良く、仕事への良いパフォーマンスに繋がると感じる。
- お試し期間中に職場の同僚にも早速すすめました。悩みを気軽に相談でき、その内容もとても充実している。

## ■ 推薦・導入意向



社内の同僚などに勧めたいか



会社に本導入して欲しいか

## ■ 利用前後の変化①

### ▶ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版

#### <時間に基づく家庭から仕事への葛藤>

有意に上昇↑

- 家族としての責任に時間を費やすために、自分の職務が妨げられることがよくある
- 家族と時間を過ごすために、自分のキャリアアップに役立つ職場での活動に時間をかけられないことがよくある
- 家族としての責任を果たすために多くの時間を使うので、仕事の活動が犠牲になっている

(P<0.01)

#### <ストレス反応に基づく家庭から仕事への葛藤>

有意に上昇↑

- 家庭でのストレスのために、職場でも家族のことが頭を離れないことがよくある
- 家庭での責任からくるストレスがよくあるので、仕事に集中するのが難しいことがある

(P<0.05)

## ■ 利用前後の変化②

### ▶ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動尺度

#### <家庭役割充実対処>

- 親や配偶者としての責任をきちんと果たそうと努力する
- 家族の一員としての役割を果たそうと心がける
- 仕事が大変でも、家庭をおろそかにしない

有意に減少↓

( $P < 0.05$ )

## ■ 利用前後の変化③

### ▶Public Health Research Foundation ストレスチェックリスト・ショートフォーム

## ■ 利用前後の変化④

### ▶主観的幸福感尺度

有意な変動なし

01

**サービス提供の前後で有意に家庭の時間が自身の職務やキャリアアップに役立つ活動を妨げていた。**

02

**サービス提供の前後で有意に家庭でのストレスが仕事中も頭から離れなくなり、集中できなくなっていた。**

03

**サービス提供の前後で有意に家庭役割を調整（縮小）し、仕事と家庭を両立しようとしていた。**

01

仕事やキャリアアップの活動を妨げ

02

家庭のストレスで仕事に集中できず

03

仕事よりも家庭役割を制限せねばならない



## ■ 新型コロナウイルス第6波の影響でバイアスが強くなった

導入前アンケートの回収が開始された10月1日は第5波がおちつき**緊急事態宣言が解除**された時期。一方事後アンケートを回収した1月下旬は第6波により全国で過去最多の6万人以上の新規感染者が確認され、**保育園の休園**なども相次ぎ、蔓延防止等重点措置も発令された時期。未曾有の社会変化の影響が、サービス評価を困難にした可能性がある。

## ■ 長期・継続的な介入で効果測定されやすい

今回サービスを客観的に評価するために用いた、ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版、ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動尺度、Public Health Research Foundationストレスチェックリスト・ショートフォーム、主観的幸福感尺度の4つの尺度において、さらに長期間介入したほうが効果が出るものである可能性が高い。今後はストレス関連物質を多く含む唾液での検証など、より短期間・客観的に評価しやすい生体反応を測定するなど、サービスに適した検証方法を検討する必要がある。

## ■ サービス提供期間が4ヶ月と短かった

まだ世の中にはないサービスであるが故に、1万4千人以上に周知し活用、その変化を実感するためには4ヶ月という期間が短かった可能性がある。これまでの実績から導入後半年以上たってから定着し始めることも分かっており、今回の検証期間がやや短く、有意に変化する指標が少なかった。



- **利用しなかった人の変化、利用の有無に関わらない母集団の変化がどうだったのかさらに分析を進める**
- **主観的評価に関しては、大変高評価であった性別や年代、企業規模などで違いがあるか、さらに多角的にデータをみていく**

01

6ヶ月で新規企業14社をリクルートし、新しくサポート助産師を育成、サービス運用し、データを回収することができた

02

ワークとライフに関わるサービスだからこそ、会社の経営状態や、社会情勢の変化など、サービス以外の外的要因に影響を受け、客観的評価が難しかった

03

初めて14社一斉オンライン研修なども挑戦でき、The CAREクライアント企業を1つのコミュニティとして新たな価値創造のきっかけを得られた

# イノベーションの種を熊本

UXプロジェクトとは



# 内閣府主催少子化社会対策大綱の推進に関する検討会（第4回）に有識者として弊社代表の岸畑が出席

株式会社With Midwife 代表取締役 岸畑 聖月が内閣府主催少子化社会対策大綱の推進に関する検討会（第4回）に出席いたしましたのでお知らせいたします。



[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [子ども・子育て本部](#) > [少子化対策](#) > [会議・プロジェクトチーム](#) > 少子化社会対策大綱の推進に関する検討会の開催について

## 少子化社会対策大綱の推進に関する検討会の開催について

HOME

制度・取組

大綱・法令

会議

調査・白書  
・公表資料

イベント・  
普及啓発物

子ども・子育て  
本部について

令和3年5月31日  
内閣府特命担当大臣（少子化対策）決定

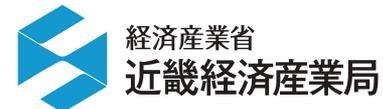
### 1 趣旨

少子化社会対策基本法（平成15年法律第133号）第7条に基づき策定された少子化社会対策大綱における施策について、進捗状況等を検証・評価し、必要な見直しにつなげるPDCAサイクルを適切に回すため、少子化社会対策大綱の推進に関する検討会（以下「検討会」という。）を開催する。

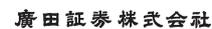
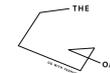
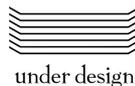
Data analysis



Recruiting cooperation



Research cooperation



Supported by



# THE CARE

The CARE 実証事業成果発表資料

**大企業および中小企業の従業員を対象とした  
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**